

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年2月14日

**【四半期会計期間】** 第112期第3四半期(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

**【会社名】** 株式会社加藤製作所

**【英訳名】** KATO WORKS CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 加藤 公康

**【本店の所在の場所】** 東京都品川区東大井1丁目9番37号

**【電話番号】** 03(3458)1111(大代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員財務部長 高橋 啓二

**【最寄りの連絡場所】** 東京都品川区東大井1丁目9番37号

**【電話番号】** 03(3458)1111(大代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員財務部長 高橋 啓二

**【縦覧に供する場所】** 株式会社加藤製作所大阪支店  
(大阪市淀川区西中島2丁目3番20号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次   | 第111期<br>第3四半期連結<br>累計期間             | 第112期<br>第3四半期連結<br>累計期間             | 第111期<br>第3四半期連結<br>会計期間              | 第112期<br>第3四半期連結<br>会計期間              | 第111期                               |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間                                       | 自 平成21年<br>4月1日<br>至 平成21年<br>12月31日 | 自 平成22年<br>4月1日<br>至 平成22年<br>12月31日 | 自 平成21年<br>10月1日<br>至 平成21年<br>12月31日 | 自 平成22年<br>10月1日<br>至 平成22年<br>12月31日 | 自 平成21年<br>4月1日<br>至 平成22年<br>3月31日 |
| 売上高 (百万円)                                  | 25,856                               | 32,959                               | 8,041                                 | 10,676                                | 38,018                              |
| 経常利益又は経常損失<br>( ) (百万円)                    | 627                                  | 228                                  | 112                                   | 320                                   | 788                                 |
| 四半期純利益又は四半<br>期(当期)純損失( ) (百万円)            | 657                                  | 505                                  | 15                                    | 271                                   | 751                                 |
| 純資産額 (百万円)                                 |                                      |                                      | 28,731                                | 29,582                                | 28,790                              |
| 総資産額 (百万円)                                 |                                      |                                      | 65,253                                | 71,316                                | 64,750                              |
| 1株当たり純資産額 (円)                              |                                      |                                      | 490.17                                | 504.71                                | 491.18                              |
| 1株当たり四半期純利<br>益金額又は四半期(当<br>期)純損失金額( ) (円) | 11.22                                | 8.63                                 | 0.26                                  | 4.64                                  | 12.81                               |
| 潜在株式調整後<br>1株当たり四半期<br>(当期)純利益金額 (円)       |                                      |                                      |                                       |                                       |                                     |
| 自己資本比率 (%)                                 |                                      |                                      | 44.03                                 | 41.48                                 | 44.46                               |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー (百万円)                 | 610                                  | 974                                  |                                       |                                       | 2,418                               |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー (百万円)                 | 2,068                                | 525                                  |                                       |                                       | 2,195                               |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー (百万円)                 | 2,330                                | 989                                  |                                       |                                       | 802                                 |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末(期末)残高 (百万円)             |                                      |                                      | 11,091                                | 10,270                                | 11,075                              |
| 従業員数 (名)                                   |                                      |                                      | 708                                   | 754                                   | 707                                 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第112期第3四半期には潜在株式が存在しないため記載しておりません。第111期第3四半期、第111期は、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成22年12月31日現在

|         |     |
|---------|-----|
| 従業員数(名) | 754 |
|---------|-----|

(注) 従業員数は就業人員であります。

### (2) 提出会社の状況

平成22年12月31日現在

|         |     |
|---------|-----|
| 従業員数(名) | 620 |
|---------|-----|

(注) 従業員数は就業人員であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 生産高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|----------|----------|------------|
| 日本       | 12,124   |            |
| 中国       | 3,986    |            |
| 合計       | 16,111   |            |

(注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

当社グループは、需要予測に基づく見込生産を行っているため、該当はありません。

#### (3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 販売高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|----------|----------|------------|
| 日本       | 7,846    |            |
| 中国       | 2,829    |            |
| 合計       | 10,676   |            |

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

| 相手先          | 前第3四半期連結会計期間 |       | 当第3四半期連結会計期間 |       |
|--------------|--------------|-------|--------------|-------|
|              | 販売高(百万円)     | 割合(%) | 販売高(百万円)     | 割合(%) |
| 天津長久恒通商貿有限公司 |              |       | 2,823        | 26.4  |

3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

##### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日～平成22年12月31日）における我が国経済は、政府の景気刺激策等に伴い、一部に駆け込み需要による経済効果もみられましたものの、一方では、円高や株価の低迷、依然として高い失業率など、経済の先行きに対する不透明感は払拭されずに推移いたしました。

当社グループの事業環境は、中国における油圧ショベルの需要が極めて好調に推移しておりますものの、その他の地域や国内の需要は、建設用クレーンを中心に、依然として低迷した状況が続いております。このような状況下、当社グループは、積極的な営業活動を行なうとともに、コスト削減の徹底を継続してまいりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は106億7千6百万円（前年同期比132.8%）となりました。収益につきましては、営業利益2億1千6百万円（前年同期は1千6百万円の損失）、経常利益3億2千万円（前年同期比285.9%）、四半期純利益2億7千1百万円（前年同期は1千5百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

##### 日本

日本では、悪化した経済状況も徐々に落ち着きをみせ、回復傾向となってまいりましたが、主に建設用クレーンを中心とした建設機械の受注環境は厳しく、未だ明るい兆しはみられません。売上高は100億4千6百万円となり、セグメント利益は4千7百万円の損失となりました。

##### 中国

中国における油圧ショベルの製造販売は、引き続き順調に推移いたしました。売上高は28億2千9百万円となり、セグメント利益は3億8百万円となりました。

主要品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

##### 建設用クレーン

前年の極端な買い控え状況からは落ち着きを取り戻してまいりましたものの、国内・海外ともに未だ力強さに欠ける状況が続いております。売上高は、49億1千2百万円（前年同期比153.3%）となりました。

##### 油圧ショベル

中国での旺盛な需要のもと、20トン、30トンクラスの主要機種が生産販売は順調に推移いたしました。その他の海外地域および国内においても、徐々に落ち着きを取り戻してまいりました。売上高は52億4千4百万円（前年同期比110.5%）となりました。

##### 路面清掃車等

路面清掃車等につきましては、売上高5億1千9百万円（前年同期比566.2%）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### 資産、負債および純資産の状況

#### (資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ65億6千5百万円（10.1%）増加し、713億1千6百万円となりました。これは、主として受取手形および売掛金が8億6千9百万円、たな卸資産が50億3千5百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ57億7千3百万円（16.1%）増加し、417億3千4百万円となりました。これは、短期・長期借入金が7億3千5百万円減少しましたものの、支払手形・買掛金が67億7千6百万円増加した事が主な要因であります。

#### (純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ7億9千1百万円（2.7%）増加し、295億8千2百万円となりました。これは、利益剰余金の増加10億8千4百万円と、評価・換算差額等の減少2億9千2百万円が主な要因であります。

## (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は102億7千万円となり、第2四半期連結会計期間末の103億3千8百万円に比べ6千8百万円の減少となりました。当第3四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は、つぎのとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における営業活動による資金は、12億3千8百万円の減少となりました。その主な要因は、仕入債務の増加8億9千1百万円と、売上債権の減少9億5千8百万円の増加要因と、たな卸資産の増加30億4千3百万円等の減少要因によるものであります。（前第3四半期連結会計期間は30億4千9百万円の増加）

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は、1億8千3百万円となりました。その主な要因は、工場関係の機械設備等の取得1億9千2百万円によるものであります。（前第3四半期連結会計期間は6億4千万円の減少）

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における財務活動による資金は、14億5百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金の増加25億円の増加要因と、短期・長期借入金の返済9億5千7百万円、ならびに配当金の支払い11億3千6百万円の減少要因によるものであります。（前第3四半期連結会計期間は6億1千4百万円の減少）

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間の研究開発費の総額は2億9百万円であります。研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、第2四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 234,000,000 |
| 計    | 234,000,000 |

##### 【発行済株式】

| 種類   | 第3四半期会計期間<br>末現在発行数(株)<br>(平成22年12月31日) | 提出日現在<br>発行数(株)<br>(平成23年2月14日) | 上場金融商品取引所<br>名又は登録認可金融<br>商品取引業協会名 | 内容                     |
|------|---|---------------------------------|------------------------------------|------------------------|
| 普通株式 | 58,717,936                              | 58,717,936                      | 東京証券取引所<br>(市場第一部)                 | 単元株式数は1,000株であり<br>ます。 |
| 計    | 58,717,936                              | 58,717,936                      |                                    |                        |

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日         | 発行済株式<br>総数増減数<br>(千株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(千株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金<br>増減額<br>(百万円) | 資本準備金<br>残高<br>(百万円) |
|-------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成22年12月31日 |                        | 58,717                |                 | 2,935          |                       | 7,109                |

#### (6) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。



(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成22年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年9月30日現在

| 区分             | 株式数(株)                   | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|----|
| 無議決権株式         |                          |          |    |
| 議決権制限株式(自己株式等) |                          |          |    |
| 議決権制限株式(その他)   |                          |          |    |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式)<br>普通株式 103,000 |          |    |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式<br>58,208,000       | 58,208   |    |
| 単元未満株式         | 普通株式 406,936             |          |    |
| 発行済株式総数        | 58,717,936               |          |    |
| 総株主の議決権        |                          | 58,208   |    |

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式949株が含まれております。

【自己株式等】

平成22年9月30日現在

| 所有者の氏名<br>又は名称        | 所有者の住所                  | 自己名義<br>所有株式数<br>(株) | 他人名義<br>所有株式数<br>(株) | 所有株式数<br>の合計<br>(株) | 発行済株式<br>総数に対する<br>所有株式数<br>の割合(%) |
|-----------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式)<br>株式会社加藤製作所 | 東京都品川区東大井<br>1 - 9 - 37 | 103,000              |                      | 103,000             | 0.17                               |
| 計                     |                         | 103,000              |                      | 103,000             | 0.17                               |

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

| 月別    | 平成22年<br>4月 | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 最高(円) | 233         | 213 | 205 | 184 | 184 | 173 | 161 | 179 | 191 |
| 最低(円) | 190         | 168 | 172 | 163 | 150 | 147 | 145 | 144 | 168 |

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

|               | 当第3四半期連結会計期間末<br>(平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>(平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| <b>資産の部</b>   |                                |  |
| 流動資産          |                                |  |
| 現金及び預金        | 10,270                         | 11,075                                   |
| 受取手形及び売掛金     | 1, 5 25,771                    | 16,464                                   |
| 商品及び製品        | 10,927                         | 8,178                                    |
| 仕掛品           | 2,984                          | 2,007                                    |
| 原材料及び貯蔵品      | 7,102                          | 5,792                                    |
| 繰延税金資産        | 996                            | 1,017                                    |
| その他           | 1,259                          | 815                                      |
| 貸倒引当金         | 111                            | 74                                       |
| 流動資産合計        | 59,200                         | 45,276                                   |
| 固定資産          |                                |  |
| 有形固定資産        |                                |  |
| 建物及び構築物(純額)   | 3,834                          | 3,908                                    |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,102                          | 1,039                                    |
| 土地            | 2,744                          | 2,548                                    |
| 建設仮勘定         | 98                             | 159                                      |
| その他(純額)       | 198                            | 190                                      |
| 有形固定資産合計      | 2 7,978                        | 2 7,845                                  |
| 無形固定資産        | 138                            | 167                                      |
| 投資その他の資産      |                                |  |
| 投資有価証券        | 1,448                          | 648                                      |
| 長期受取手形        | -                              | 8,437                                    |
| 破産更生債権等       | 2,595                          | 2,601                                    |
| 繰延税金資産        | 1,215                          | 825                                      |
| その他           | 1,311                          | 1,568                                    |
| 貸倒引当金         | 2,571                          | 2,621                                    |
| 投資その他の資産合計    | 3,998                          | 11,460                                   |
| 固定資産合計        | 12,115                         | 19,474                                   |
| 資産合計          | 71,316                         | 64,750                                   |

(単位：百万円)

|               | 当第3四半期連結会計期間末<br>(平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>(平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| <b>負債の部</b>   |                                |  |
| 流動負債          |                                |  |
| 支払手形及び買掛金     | 5 18,552                       | 11,775                                   |
| 短期借入金         | 7,840                          | 8,240                                    |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,917                          | 3,964                                    |
| 未払法人税等        | 83                             | 187                                      |
| 割賦販売前受利息      | 1,213                          | 1,245                                    |
| 賞与引当金         | 154                            | 299                                      |
| 製品保証引当金       | 191                            | 212                                      |
| その他           | 614                            | 540                                      |
| 流動負債合計        | 32,566                         | 26,465                                   |
| 固定負債          |                                |  |
| 長期借入金         | 7,837                          | 8,125                                    |
| 退職給付引当金       | 736                            | 776                                      |
| 役員退職慰労引当金     | 582                            | 579                                      |
| その他           | 10                             | 12                                       |
| 固定負債合計        | 9,167                          | 9,494                                    |
| 負債合計          | 41,734                         | 35,960                                   |
| <b>純資産の部</b>  |                                |  |
| 株主資本          |                                |  |
| 資本金           | 2,935                          | 2,935                                    |
| 資本剰余金         | 7,109                          | 7,109                                    |
| 利益剰余金         | 19,753                         | 18,669                                   |
| 自己株式          | 25                             | 24                                       |
| 株主資本合計        | 29,773                         | 28,689                                   |
| 評価・換算差額等      |                                |  |
| その他有価証券評価差額金  | 48                             | 124                                      |
| 為替換算調整勘定      | 239                            | 23                                       |
| 評価・換算差額等合計    | 191                            | 100                                      |
| 純資産合計         | 29,582                         | 28,790                                   |
| 負債純資産合計       | 71,316                         | 64,750                                   |

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

|                               | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 売上高                           | 25,856                                       | 32,959                                       |
| 売上原価                          | 23,136                                       | 29,071                                       |
| 売上総利益                         | 2,720  | 3,887  |
| 販売費及び一般管理費                    |  |  |
| 運賃                            | 703  | 703  |
| 給料及び手当                        | 1,029  | 1,029  |
| 賞与引当金繰入額                      | 79   | 75   |
| 貸倒引当金繰入額                      | -  | 34   |
| 減価償却費                         | 75   | 80   |
| その他                           | 1,555  | 1,703  |
| 販売費及び一般管理費合計                  | 3,443  | 3,627  |
| 営業利益又は営業損失( )                 | 723  | 259  |
| 営業外収益                         |  |  |
| 受取利息                          | 21   | 5  |
| 割賦販売受取利息                      | 519  | 477  |
| 受取配当金                         | 10   | 8  |
| 持分法による投資利益                    | -  | 50   |
| その他                           | 89   | 27   |
| 営業外収益合計                       | 641  | 568  |
| 営業外費用                         |  |  |
| 支払利息                          | 263  | 250  |
| 為替差損                          | 225  | 300  |
| その他                           | 55   | 48   |
| 営業外費用合計                       | 545  | 599  |
| 経常利益又は経常損失( )                 | 627  | 228  |
| 特別利益                          |  |  |
| 固定資産売却益                       | 0  | 2  |
| 貸倒引当金戻入額                      | 20   | 44   |
| 製品保証引当金戻入額                    | 71   | 21   |
| 事業整理益                         | 85   | -  |
| 前期損益修正益                       | -  | 23   |
| その他                           | -  | 16   |
| 特別利益合計                        | 178  | 108  |
| 特別損失                          |  |  |
| 固定資産除却損                       | 2  | 2  |
| 事業整理損                         | 7  | -  |
| 特別損失合計                        | 10   | 2  |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( ) | 459  | 334  |
| 法人税、住民税及び事業税                  | 45   | 145  |
| 法人税等調整額                       | 152  | 316  |
| 法人税等合計                        | 197  | 171  |
| 四半期純利益又は四半期純損失( )             | 657  | 505  |

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

|                   | 前第3四半期連結会計期間<br>(自平成21年10月1日<br>至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(自平成22年10月1日<br>至平成22年12月31日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高               | 8,041   | 10,676  |
| 売上原価              | 6,936   | 9,262   |
| 売上総利益             | 1,105   | 1,413   |
| 販売費及び一般管理費        |   |   |
| 運賃                | 234   | 212   |
| 給料及び手当            | 337   | 365   |
| 製品保証引当金繰入額        | -   | 12  |
| 減価償却費             | 27  | 32  |
| その他               | 522   | 573   |
| 販売費及び一般管理費合計      | 1,121   | 1,196   |
| 営業利益又は営業損失( )     | 16  | 216   |
| 営業外収益             |   |   |
| 受取利息              | 1   | 1   |
| 割賦販売受取利息          | 173   | 154   |
| 受取配当金             | 1   | 2   |
| 持分法による投資利益        | -   | 8   |
| 為替差益              | 45  | 25  |
| その他               | 19  | 11  |
| 営業外収益合計           | 242   | 203   |
| 営業外費用             |   |   |
| 支払利息              | 93  | 80  |
| その他               | 20  | 18  |
| 営業外費用合計           | 114   | 98  |
| 経常利益              | 112   | 320   |
| 特別利益              |   |   |
| 固定資産売却益           | 0   | 1   |
| 貸倒引当金戻入額          | 19  | 3   |
| 製品保証引当金戻入額        | 18  | -   |
| 事業整理益             | 0   | -   |
| 特別利益合計            | 38  | 5   |
| 特別損失              |   |   |
| 固定資産除却損           | 2   | 1   |
| 事業整理損             | 0   | -   |
| 特別損失合計            | 2   | 1   |
| 税金等調整前四半期純利益      | 148   | 324   |
| 法人税、住民税及び事業税      | 24  | 51  |
| 法人税等調整額           | 138   | 1   |
| 法人税等合計            | 163   | 52  |
| 四半期純利益又は四半期純損失( ) | 15  | 271   |

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

|                               | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>       |  |  |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( ) | 459  | 334  |
| 減価償却費                         | 564  | 556  |
| 貸倒引当金の増減額( は減少)               | 39   | 13   |
| 退職給付引当金の増減額( は減少)             | 111  | 40   |
| 役員退職慰労引当金の増減額( は減少)           | 12   | 3  |
| 受取利息及び受取配当金                   | 32   | 13   |
| 支払利息                          | 263  | 250  |
| 為替差損益( は益)                    | 38   | 251  |
| 持分法による投資損益( は益)               | -  | 50   |
| 割賦販売前受利息の増減額( は減少)            | 105  | 31   |
| 固定資産売却損益( は益)                 | 0  | 2  |
| 固定資産除却損                       | 2  | 2  |
| 事業整理益                         | 85   | -  |
| 事業整理損失                        | 7  | -  |
| 売上債権の増減額( は増加)                | 5,894  | 1,038  |
| たな卸資産の増減額( は増加)               | 1,379  | 5,298  |
| 仕入債務の増減額( は減少)                | 8,037  | 6,957  |
| 未払費用の増減額( は減少)                | 7  | 29   |
| 未収消費税等の増減額( は増加)              | 443  | 433  |
| その他                           | 278  | 10   |
| 小計                            | 7  | 1,453  |
| 利息及び配当金の受取額                   | 24   | 14   |
| 利息の支払額                        | 264  | 244  |
| 法人税等の支払額又は還付額( は支払)           | 842  | 249  |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー              | 610  | 974  |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>       |  |  |
| 有形固定資産の取得による支出                | 2,021  | 532  |
| 有形固定資産の売却による収入                | 8  | 3  |
| 無形固定資産の取得による支出                | 28   | 2  |
| 投資有価証券の取得による支出                | -  | 20   |
| 投資有価証券の売却による収入                | -  | 0  |
| その他                           | 26   | 25   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー              | 2,068  | 525  |

(単位：百万円)

|                           | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年12月31日) |
|---------------------------|--|--|
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>   |  |  |
| 短期借入金の純増減額（は減少）           | 1,005  | 400  |
| 長期借入れによる収入                | 4,300  | 2,600  |
| 長期借入金の返済による支出             | 2,547  | 2,935  |
| 自己株式の取得による支出              | 0  | 0  |
| 配当金の支払額                   | 427  | 254  |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>   | <b>2,330</b>                                 | <b>989</b>                                   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額          | 29   | 263  |
| <b>現金及び現金同等物の増減額（は減少）</b> | <b>843</b>                                   | <b>804</b>                                   |
| 現金及び現金同等物の期首残高            | 10,248                                       | 11,075                                       |
| <b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>   | <b>11,091</b>                                | <b>10,270</b>                                |



【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

| 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日至平成22年12月31日) |  |
|--|--|
| 1. 持分法の適用に関する事項の変更                       | <p>持分法適用関連会社</p> <p>(1) 持分法適用関連会社の変更<br/>第1四半期連結会計期間より、光陽精機(株)は重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。</p> <p>(2) 変更後の持分法適用関連会社の数<br/>1社</p>   |
| 2. 会計処理基準に関する事項の変更                       | <p>(1) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用<br/>第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号平成20年3月10日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号平成20年3月10日)を適用しております。</p> <p>(2) 資産除去債務に関する会計基準の適用<br/>第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。</p> |

【簡便な会計処理】

| 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日至平成22年12月31日) |  |
|--|--|
| 1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法                       | <p>当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。</p>   |
| 2. 棚卸資産の評価方法                             | <p>当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。</p> <p>また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。</p>                         |
| 3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法            | <p>法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。</p> <p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p> |

【追加情報】

|  |
|--|
| <p>当第3四半期連結累計期間<br/>(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)</p>  |
| <p>第1四半期連結会計期間より、「長期受取手形」に表示しておりました割賦販売による受取手形は、「流動資産」の「受取手形」に表示しております。その金額は8,124百万円であります。</p> |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 当第3四半期連結会計期間末<br>(平成22年12月31日)  | 前連結会計年度末<br>(平成22年3月31日)   |
|---|--|
| <p>1 「受取手形及び売掛金」には割賦販売による受取手形(1年を超えるもの)が8,124百万円含まれております。</p>   | 1  |
| <p>2 有形固定資産の減価償却累計額 12,137百万円</p>   | 2 有形固定資産の減価償却累計額 11,650百万円   |
| 3   | 3 保証債務<br>EURO RIGO S.R.L. 40百万円   |
| <p>4 コミットメントライン契約<br/>当社は、運転資金の安定的な調達を行う為、取引銀行1行とコミットメントライン契約を締結しております。<br/>当第3四半期連結会計期間末における借入未実行残高等は次のとおりであります。<br/>コミットメントラインの総額 3,000百万円<br/>借入実行残高 1,500 〃<br/>差引額 1,500 〃</p> | <p>4 コミットメントライン契約<br/>当社は、運転資金の安定的な調達を行う為、取引銀行2行とコミットメントライン契約を締結しております。<br/>この契約に基づく当連結会計年度末における借入未実行残高等は次のとおりであります。<br/>コミットメントラインの総額 6,000百万円<br/>借入実行残高 3,000 〃<br/>差引額 3,000 〃</p> |
| <p>5 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。<br/>なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高から除かれております。<br/>受取手形 622百万円<br/>支払手形 2,998 〃</p>        | 5  |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成21年4月1日<br>至 平成21年12月31日)  | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年12月31日)  |
|---|---|
| 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係<br>現金及び預金 11,091百万円<br>預入期間が3か月を超える 百万円<br>定期預金<br>現金及び現金同等物 11,091百万円 | 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係<br>現金及び預金 10,270百万円<br>預入期間が3か月を超える 百万円<br>定期預金<br>現金及び現金同等物 10,270百万円 |

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

| 株式の種類   | 当第3四半期<br>連結会計期間末 |
|---------|-------------------|
| 普通株式(株) | 58,717,936        |

2. 自己株式の種類及び株式数

| 株式の種類   | 当第3四半期<br>連結会計期間末 |
|---------|-------------------|
| 普通株式(株) | 105,873           |

3. 新株予約権の四半期連結会計期間末残高等

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月29日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 117             | 2.00            | 平成22年3月31日 | 平成22年6月30日 | 利益剰余金 |
| 平成22年11月5日<br>取締役会   | 普通株式  | 146             | 2.50            | 平成22年9月30日 | 平成22年12月3日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

|                       | 荷役機械<br>(百万円) | 建設機械<br>(百万円) | その他<br>(百万円) | 計<br>(百万円) | 消去又は全社<br>(百万円) | 連結<br>(百万円) |
|-----------------------|---------------|---------------|--------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高                   |               |               |              |            |                 |             |
| (1) 外部顧客に対する売上高       | 3,205         | 4,744         | 91           | 8,041      |                 | 8,041       |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 |               |               |              |            |                 |             |
| 計                     | 3,205         | 4,744         | 91           | 8,041      |                 | 8,041       |
| 営業利益又は営業損失( )         | 207           | 250           | 27           | 16         |                 | 16          |

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) 荷役機械.....建設用クレーン
- (2) 建設機械.....油圧ショベル、アースドリル
- (3) その他.....路面清掃車、万能吸引車

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

|                       | 荷役機械<br>(百万円) | 建設機械<br>(百万円) | その他<br>(百万円) | 計<br>(百万円) | 消去又は全社<br>(百万円) | 連結<br>(百万円) |
|-----------------------|---------------|---------------|--------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高                   |               |               |              |            |                 |             |
| (1) 外部顧客に対する売上高       | 11,958        | 13,548        | 350          | 25,856     |                 | 25,856      |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 |               |               |              |            |                 |             |
| 計                     | 11,958        | 13,548        | 350          | 25,856     |                 | 25,856      |
| 営業利益又は営業損失( )         | 552           | 1,347         | 71           | 723        |                 | 723         |

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) 荷役機械.....建設用クレーン
- (2) 建設機械.....油圧ショベル、アースドリル
- (3) その他.....路面清掃車、万能吸引車

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

|                           | 日本<br>(百万円) | 中国<br>(百万円) | 計<br>(百万円) | 消去又は全社<br>(百万円) | 連結<br>(百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高                       |             |             |            |                 |             |
| (1) 外部顧客に<br>対する売上高       | 6,456       | 1,585       | 8,041      |                 | 8,041       |
| (2) セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | 944         |             | 944        | (944)           |             |
| 計                         | 7,400       | 1,585       | 8,985      | (944)           | 8,041       |
| 営業利益又は営業損失( )             | 245         | 157         | 87         | 71              | 16          |

(注) 国又は地域の区分は、連結会社の所在国によっております。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

|                           | 日本<br>(百万円) | 中国<br>(百万円) | 計<br>(百万円) | 消去又は全社<br>(百万円) | 連結<br>(百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高                       |             |             |            |                 |             |
| (1) 外部顧客に<br>対する売上高       | 22,183      | 3,672       | 25,856     |                 | 25,856      |
| (2) セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | 2,238       |             | 2,238      | (2,238)         |             |
| 計                         | 24,422      | 3,672       | 28,095     | (2,238)         | 25,856      |
| 営業利益又は営業損失( )             | 1,097       | 373         | 723        | 0               | 723         |

(注) 国又は地域の区分は、連結会社の所在国によっております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

|                          | アジア   | その他の地域 | 計     |
|--------------------------|-------|--------|-------|
| 海外売上高(百万円)               | 3,226 | 791    | 4,018 |
| 連結売上高(百万円)               |       |        | 8,041 |
| 連結売上高に占める<br>海外売上高の割合(%) | 40.1  | 9.9    | 50.0  |

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分の主な国又は地域  
 (1) アジア.....東アジア、東南アジア他  
 (2) その他の地域.....ヨーロッパ、中近東、アフリカ、オーストラリア他  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

|                          | アジア   | その他の地域 | 計      |
|--------------------------|-------|--------|--------|
| 海外売上高(百万円)               | 9,413 | 1,831  | 11,244 |
| 連結売上高(百万円)               |       |        | 25,856 |
| 連結売上高に占める<br>海外売上高の割合(%) | 36.4  | 7.1    | 43.5   |

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分の主な国又は地域  
 (1) アジア.....東アジア、東南アジア他  
 (2) その他の地域.....ヨーロッパ、中近東、アフリカ、オーストラリア他  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に建設用クレーン、油圧ショベル及びその他の製品を製造・販売しており、国内においては当社が、海外においては中国を加藤(中国)工程机械有限公司が担当しております。現地法人は独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」及び「中国」の2つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

|                       | 日本     | 中国    | 計      | 調整額(注)1 | (単位:百万円)<br>四半期連結損益<br>計算書計上額(注)2 |
|-----------------------|--------|-------|--------|---------|-----------------------------------|
| 売上高                   |        |       |        |         |                                   |
| 外部顧客への売上高             | 24,713 | 8,245 | 32,959 |         | 32,959                            |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 | 5,296  | 17    | 5,313  | 5,313   |                                   |
| 計                     | 30,009 | 8,263 | 38,273 | 5,313   | 32,959                            |
| セグメント利益又は損失( )        | 609    | 1,008 | 398    | 139     | 259                               |

(注) 1 セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去3百万円、セグメント間未実現利益消去142百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

|                       | 日本     | 中国    | 計      | 調整額(注)1 | (単位:百万円)<br>四半期連結損益<br>計算書計上額(注)2 |
|-----------------------|--------|-------|--------|---------|-----------------------------------|
| 売上高                   |        |       |        |         |                                   |
| 外部顧客への売上高             | 7,846  | 2,829 | 10,676 |         | 10,676                            |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 | 2,199  |       | 2,199  | 2,199   |                                   |
| 計                     | 10,046 | 2,829 | 12,876 | 2,199   | 10,676                            |
| セグメント利益又は損失( )        | 47     | 308   | 261    | 45      | 216                               |

(注) 1 セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去2百万円、セグメント間未実現利益消去47百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

| 当第3四半期連結会計期間末<br>(平成22年12月31日) | 前連結会計年度末<br>(平成22年3月31日) |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1株当たり純資産額 504.71円              | 1株当たり純資産額 491.18円        |

2. 1株当たり四半期純利益金額等

第3四半期連結累計期間

| 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年12月31日)  | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年12月31日)                               |
|---|--|
| 1株当たり四半期純損失金額 11.22円<br>なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | 1株当たり四半期純利益金額 8.63円<br>なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 |

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項 目                               | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年12月31日) |
|-----------------------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失( )(百万円)            | 657  | 505  |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円)                 |  |  |
| 普通株式に係る四半期純利益<br>又は四半期純損失( )(百万円) | 657  | 505  |
| 普通株式の期中平均株式数(株)                   | 58,616,712                                   | 58,613,747                                   |

第3四半期連結会計期間

| 前第3四半期連結会計期間<br>(自平成21年10月1日<br>至平成21年12月31日)  | 当第3四半期連結会計期間<br>(自平成22年10月1日<br>至平成22年12月31日)                              |
|--|--|
| 1株当たり四半期純損失金額 0.26円<br>なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | 1株当たり四半期純利益金額 4.64円<br>なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 |

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項 目                               | 前第3四半期連結会計期間<br>(自平成21年10月1日<br>至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(自平成22年10月1日<br>至平成22年12月31日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失( )(百万円)            | 15  | 271   |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円)                 |   |   |
| 普通株式に係る四半期純利益<br>又は四半期純損失( )(百万円) | 15  | 271   |
| 普通株式の期中平均株式数(株)                   | 58,616,138                                    | 58,613,087                                    |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 2 【その他】

第112期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の中間配当については、平成22年11月5日開催の取締役会において、平成22年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 配当金の総額             | 146百万円     |
| 1株当たりの金額           | 2円50銭      |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成22年12月3日 |

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月12日

株式会社 加藤製作所  
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 福田 光博 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 木村 健 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 稲野辺 研 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社加藤製作所の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社加藤製作所及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年2月14日

株式会社 加藤製作所  
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 福田 光博 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 木村 健 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 稲野辺 研 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社加藤製作所の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社加藤製作所及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。